

## Case Report

### 血友病 A 患者の重複浅大腿静脈における血栓症

#### Thrombosis in a duplicated superficial femoral vein in a patient with haemophilia A

A. J. Stewart, L. M. Manson, R. Dennis, P. L. Allan and C. A. Ludlam

血友病 A 患者での静脈血栓症は極めて稀であるが、今回の報告でその 1 例を報告する。この患者では、当初ふくらはぎの血腫が疑われたため超音波スキャンを行ったが、ふくらはぎの血腫も深部静脈血栓症 (DVT) も認められなかった。しかし、その後の静脈造影により重複浅大腿静脈の一部に高位静脈血栓症が認められた。第 VIII 因子 (FVIII) 製剤と低分子量ヘパリンを用いた治療により血栓症は消退した。我々が文献を調べた限り、血友病 A 患者で静脈血栓症が発生したという報告は他に 1 例を認めたが、この患者では FVIII 補充療法中に発生しており、我々の症例とは状況が異なっていた。



**Fig. 1.** An illustration of the venographic appearance of a partial duplication of the superficial femoral vein (marked with arrow) in a patient with no evidence of DVT.